

# 討論

第1回定例会で審議された議案・請願に対する討論の概要をお伝えいたします。議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

## 市長提出議案

### 男女共同参画推進条例の一部改正…可決

〔内容〕男女共同参画の概念に性的マイノリティーも含めた全ての人の人権を尊重することを加える等の見直し

小堤議員…性的マイノリティーも含めた全ての人の人権を尊重し、様々な生き方が選択できる社会に向けて、男女共同参画を推進してより公正認識、高く評価し、賛成。

根岸議員…性別等にかかわらず、個性と能力を十分に発揮できる社会を目指し、第4次取手市男女共同参画計画策定とともに、改正によりジェンダー平等推進が進む。賛成。

### 都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正…可決

〔内容〕災害発生のおそれがある区域での開発行為の許可基準改正、既存住宅における世帯分離の許可基準のうち母屋住宅の要件の緩和

遠山議員…改正により、地域への縛りは強まる一方、大規模開発事業は特例で認めるなど、大手開発事業者を優遇する懸念は明白。反対。

根岸議員…近年の異常気象により、災害リスクは確実に高まっており、災害リスクの高いエリアを明確にする本条例改正は、安全な町づくりのために欠かせないもの。賛成。

細谷議員…国交省は、予測不能な災害が多発する状況下では、より厳し目の規制にせざるを得ないが、地域での施策・取り組みは支援できること、地域に及ぼすダメージは、最小限にすることができると判断。賛成。

### 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正…可決

〔内容〕市立学校に学校運営協議会を設置するに当たり、同協議会委員の年額報酬及び費用弁償の設定

根岸議員…多種多様な大人が子どもと関わり、社会全体で子どもを育てる視点で、学校運営協議会設置に賛成。

須田議員…学校評議員制度ではなく、学校運営協議会を設置し、しっかりとした体制を整えようとしている。賛成。

関戸議員…学校と地域との連携について、地域からは見えにくいと感じていた。学校・保護者・地域が連携することが今後、さらに大切になる。賛成。

### 令和3年度一般会計補正予算(第18号)…可決

〔内容〕学校施設整備事業、放射能対策費用弁償金、新型コロナウイルス感染症対策経費等

入江議員…白山小学校の長寿命化改良事業、永山中学校公共下水道接続事業という、市の将来を担う子どもたちが安全安心に充実した学校生活を送るための二つの環境整備事業について評価。賛成。

根岸議員…補正予算の歳入に東電からの放射能対策費用弁償金が計上されている。また多額の賠償請求が残っているが、粘り強く交渉をしてきた成果であり、高く評価。賛成。

### かたらいの郷の設置及び管理に関する条例の一部改正…修正可決

〔原案の内容〕利用時間を午後5時までとする  
上記改正案の修正動議…可決

(提出議員…関川 他3人)

〔修正案の内容〕7月から9月までの期間、利用時間を午後7時までとする

加増議員…かたらいの郷の利用時間縮小は、市民サービスの低下そのもの。市民から親しまれ、もっと利用できる公共施設とする努力が必要。原案・修正案ともに反対。

根岸議員…利用者の動向・意向調査を行ってから、利用時間短縮を検討をすべき。利用者への丁寧な説明、ある程度の理解が得られることが必要。原案・修正案ともに反対。

**議案がここを変えた!**

修正されたかたらいの郷の利用時間(7月~9月)

午後5時 午後7時

修正可決によって利用時間を2時間延長

### 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正…可決

〔原案の内容〕未就学児を含む18歳以下の被保険者のうち第2子以降の均等割額を全額免除  
上記改正案の修正動議…否決

(提出議員…関戸 他2人)

〔修正案の内容〕未就学児を含む18歳以下の被保険者の均等割額を全額免除

齋藤議員…議員の誰もが子育て世帯を応援したい、子どもを守りたいとの熱い思いがある。それに応える原案である。修正案は出されたが、国保運営は変革途中であり、まずは原案で運用するのが妥当。修正案に反対し、原案に賛成。

山野井議員…原案は、18歳以下の第2子以降の均等割額を100%減免するもの。さらなる子育て支援、多子世帯対策に寄与するものであり、賦課方式の2方式変更の影響も軽減する制度となることを評価。修正案に反対し、原案に賛成。

遠山議員…市は財政的に問題なく、18歳以下の均等割全額免除の施策ができる状況にあるため、全額免除することを強く望む。修正案に賛成。

根岸議員…既に実施している18歳以下の均等割50%減免は高く評価するが、さらなる子育て世代への支援策として、18歳以下均等割100%減免を求める。修正案に賛成。

## 令和4年度当初予算

### 令和4年度一般会計予算…可決

〔内容〕魅力ある都市空間づくり、定住化促進、少子高齢社会への対応、安全・安心な教育環境の実現等

遠山議員…コロナの収束も見えない中、市民の命と暮らしを最優先するべきところ、町づくりを第一とする予算方針が問題。市独自のPCR検査は、いまだ未実施。反対。

山野井議員…市民の健康や高齢者の安心、充実した教育を目指す町づくりに関する予算が計上されている。市がぬくもり、安さ、ともに力を育む町となることを期待。賛成。

岩澤議員…新型コロナウイルスが拡大する中、限られた財源を有効に活用し、市が持続可能な自治体経営を行うための予算づくりを目指すための予算編成を高く評価。賛成。

石井議員…市民協働と持続可能な自治体経営、コロナ対策、地球温暖化対策を重点施策と位置付け、戦略的かつ計画的に展開するための予算編成を高く評価。賛成。

久保田議員…新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、感染拡大防止に全力で取り組み、安全安心な市民生活を維持していくなど、市が「選ばれたまち」となることを期待し、賛成。

根岸議員…地球温暖化対策の計画達成を目指して進める意気込みを感じる。また、ICTを活用した事務作業の効率化による働き方改革で、市民サービス向上へつなげてほしい。賛成。

結城議員…取手駅の地下通路上に副流煙が流れている。受動喫煙を望まない人にとってコンテナ駅の喫煙所設置は必要。また、白山小学校の長寿命化改良工事は、国が進める公共施設の適正管理の推進に当てはまる。賛成。

須田議員…登校を決めかねている児童や保護者等の案件が山積している中、コロナ禍リモート授業はその問題を柔軟かつ今まで以上に対策できるものと考え、評価は高く。賛成。

### 令和4年度競輪事業特別会計予算…可決

加増議員…特別的に認められた公営ギャンブルである競輪事業には警鐘を鳴らし続けている。地方自治体が財源確保のために競輪事業を推進するほど、心身の健康を損なうギャンブル依存症を拡大させる。反対。

染谷議員…競輪事業の収益金の一部は一般会計に繰り出され、施設利用についても、消防団の訓練会場や公共施設の臨時駐車場などに活用されている。スポーツの発展や税収の面、社会貢献の意義等から、市に必要な事業。賛成。

### 令和4年度一般会計補正予算(第2号)…可決

〔内容〕かたらいの郷の利用時間変更に伴う費用

関戸議員…かたらいの郷は世代間交流と高齢者の生きがい増進を図るという目的に合った施設。その利用時間短縮に否定する意見が多く出たのも当然。反対。

根岸議員…本議案は、議会の修正により、かたらいの郷が夏の3カ月間、午後7時までを営業時間とする必要経費。賛成。

## 請願

### 国保税の引下げ、基金の公平な還元(還元)を求める請願書

(提出者…渡辺昭七 他1,963人 紹介議員…小池)

〔内容〕国民健康保険税の所得割率と均等割額の引き下げを行うこと、18歳以下の均等割は全額減免とすること、2021年度基金の一部(約16億円)の還元(還元)は公平に行うこと

加増議員…国保税滞納世帯、減免対象世帯は約7割にも上る。国保制度が市民生活を脅かし、命と健康を守る制度に程遠いものとなっている。基金を活用し、国保税引き下げによる加入者負担軽減を求める。賛成。

鈴木議員…被保険者減少による歳入減少を考慮すれば、令和6年度以降には、国保税の見直しが必要。また、数年間に亘って国保税の納付状況を調査し公平に還元することは、膨大な事務作業が必要で実行不可能。反対。

根岸議員…平等割廃止の影響の不透明さ、加入者の高齢化と加入者減等の課題があり、かじり切りは相当難しい。4月から賦課方式が変更となる今、所得割率と均等割額の引き下げを行う時期ではない。反対。

## 当初予算審査を通じ執行要望へ

一般会計予算・予算審特別委員会は、4年度一般会計予算に関して、3日間にわたり審査を行い、審査を通じて、市の予算執行に際しての要望事項を協議・決定しました。

### 要望事項

- 1 高齢者移動支援の充実
  - ・市が主体となって高齢者移動支援の充実を図ること
  - ・高齢福祉課だけでなく全庁的な課題として調査研究すること
- 2 議案(予算)説明の改善
  - ・議案説明は、新規事業や前年度比の大きな増減のあったものなど、予算書・予算説明書に記載されていない部分も丁寧に行うこと

## ウクライナ侵略に断固抗議する決議案を可決

今定例会では、ロシアのウクライナへの侵略、軍事行動を中止するよう求め、政府に対し、現地在留邦人の安全確保、国際社会との緊密な連携、ロシアへの制裁措置の徹底強化、即時無条件でのロシア軍の撤退を要請する決議案が、岩澤議員他3人から提出され、賛成多数で可決されました。また、3月24日、金澤議長・落合副議長が代表して、ウクライナ人道危機救援金として全取手市議から集めた11万5,000円を、日本赤十字社取手市地区長である藤井市長に手渡しました。



市長に救援金を手渡す金澤議長と落合副議長

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください

市議会だより「ひびき」

検索

取手市議会だより「ひびき」第242号  
(令和4年4月15日発行)

一般質問ページへのQRコード